

5. エラ・オー・パトリック・ホーム

ELLA O. PATRICK HOME

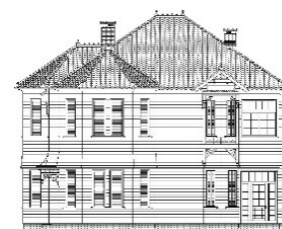


5.1 略史

- 1896.1.29 広瀬町校地献堂式 (1903 校舎増築)
- 1922-1930の間に外壁のモルタル化
- 1964 北側へ移築
- 1966 屋根材の鉄板葺き化
- 1997 都市景観賞受賞
- 2008 解体
- 2010 ゆりが丘に復元、宮城の洋館建築としては9番目の古さ

5.2 エラ・オー・パトリックのプロフィール

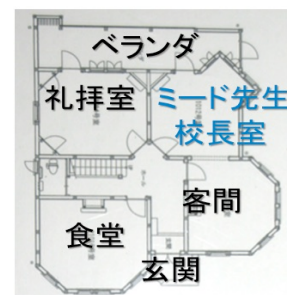
- 1846年2月28日生まれ
- 2歳で熱病 (生涯腹痛に悩まされる)
- アメリカン・バプテスト教会の敬虔な信者
- 海外の女子教育や伝道に強い関心
- 1892年11月12日没(46歳)
- 当時、アメリカで募金運動が行われており、ご遺族から多額のご寄付を頂くこととなった。



5.3 建築概要

- 本学最初の自前校舎
- 木造2階建て
- 竣工：1896年1月29日 (献堂式)
- 建物名：エラ・オー・パトリック記念館 (ホーム)
- 建築責任者：ハンブレン師
- 設計者：外国人
- 工事：日本人
- 1階：4室、約136㎡ (北側廊下・トイレを含まない)
- 2階：4室、約139㎡ (階段を含む)
- 延べ床面積：約276㎡
- 保存部分：1、2階とも約40坪 (約132㎡)

1階平面図



5.4 建物の用途

当初は主に宣教師の住居として使用された。

2階平面図

建設時：1階：応接室、校長室、礼拝室、食堂

2階：ブゼル先生私室・書斎、ミード先生私室。ブゼル先生のバイブル・クラスもここで行われた。

その後、教室、図書館、学生寮、舎監宿舎、同窓会室、倉庫として使用された。

- ・創建時と解体前の外観の違い
- ・限界だった建物の老朽化



5.5 復元方針

理念：建物自体が尚綱の建学の精神を表すシンボルである。

利用方法案：①小規模な礼拝を行う、②展示物を置く

その他の使い方：教室、ゼミ室、会議室、礼拝堂、喫茶店等も検討したが、管理や設備面から難しいことがわかり、断念。

材料の再利用方針

- ・再利用：
 - 階段、暖炉、屋内建具（扉、窓、鎧戸、金具）、カーテンボックス、廻り縁、巾木、1階の寄木床（1・2階の床材を再利用）
- ・模写復元：
 - 屋外装飾、屋外建具（扉、窓、鎧戸）、2階床材（蝶番は同じデザインがなかった）
- ・資料から再現：
 - 屋外装飾の一部、ベランダ、屋根、外壁、屋根飾り、煙突、基礎
- ・想定で復元：天井、色彩、
- ・新設・改変：トイレ、2階倉庫、モジュール
- ・復元しない：
 - 洗面所、暖炉の火回り、漆喰壁→建材、屋外窓の上下、追加されていた1F出窓と2F窓
- ・調査後決定：構造体（柱、梁、小屋組等）一部保管したがほぼ廃棄
- ・施工の様子

5.6 建築的特徴



(1) 外観

コロニアルスタイル
下見板張りの外壁
玄関上部装飾
南側小ベランダ装飾
建具（鎧戸、上げ下げ窓、玄関扉）

大ベランダ建具、手すり
屋根、屋根飾り
煙突
基礎

尚綱学入門

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (2) 内部・内装・暖炉 | 廻り縁、ドアまわり、付け鴨居、腰壁縁切 |
| 階段 | 中木 |
| 内部建具（ドア、窓）とその周囲 | ガラス |
| 暖炉 | カーテン |
| 床 | カーテンボックス |
|
 | |
| (3) 建築小物 | |
| ドアノブ | 蝶番（大・小） |
| 鎧戸留め | 丸落し |
| 階段装飾 | 窓の鍵 |
| ドア枠 | 鍵 |
|
 | |
| (4) 家具備品 | |
| 照明 | |

5.7 エラ・オー・パトリック・ホームの不思議

(旧不思議)

- ① 2階に窓
- ② 1階に出窓
- ③ 玄関脇の窓が扉だった時代がある（←玄関化）
- ④ 2階床に切れ目（←移転時に2分割）
- ⑤ 玄関に下がり壁（←二重扉だった）
- ⑥ 柱の太さ（←実際は太くなかった）

(現不思議：未解決、迷宮入り?)

- ⑦ 外壁の色
- ⑧ 2F物入れ下の隙間
- ⑨ 玄関左手の中木に切れ目
- ⑩ 玄関右のへこみ
- ⑪ 同窓会室の白い塗装
- ⑫ 設計者、施工者
- ⑬ ドアノブはどれ?
- ⑭ 天井、照明
- ⑮ 洗面所の意匠
- ⑯ 食堂の壁にドアがあったはず
- ⑰ 二重天井か?

5.8 服部英太郎・文男遺文庫

尚綱のブゼル先生

→ バイブル・クラス（吉野作造、内ヶ崎作三郎、栗原基）ら

吉野作造→ 教え子（服部英太郎東北大名誉教授、経済学部長、福島大学長）

→ ご子息（服部文男東北大名誉教授、経済学部長）

↓

・服部栄太郎・文男遺文庫（社会思想史、ご遺族から寄贈）

洋書 約3500冊 → 4,156冊 和書 約2500冊 → 2,333冊

東大時代の講義ノート（吉野作造先生のPolitical History他）など

（和書等の14,000冊は中国の名門、精華大学に服部文庫として寄贈）